

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・相談の多くを占めるのは費用の件である。以前は、おいやめいが、ほとんど面識のないおじやおばを、費用をかけないで安く送るといったものが多かったが、最近は近親者が費用の相談をしにやってくる。
	○	スナック（経営者）	・地元自治体発行のプレミアム付商品券等、経済政策が手厚く、かなり後押しされている感じである。全国の新型コロナウイルス感染者数の推移も縮小傾向なので、落ち着いているときにははたはた経済を回してほしい。
	○	都市型ホテル（支配人）	・いまだ新型コロナウイルスの収束はみえないが、Go To Travelキャンペーンの影響やWithコロナの対策が定着しつつあり、宿泊の問合せ、予約が増えてきている。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・緊急事態宣言や県をまたぐ移動の解除後は、明らかに個人の動きがみられ、先の動きも出てきていた。しかし、新型コロナウイルスの感染者数の増加が報道されてからは、動きが止まり、キャンセルも多く出ている。ただし、感染者数の減少とともに、徐々に動きが出てきているので、感染者数の減少や感染対策の徹底とともに、良くなり始めるのではないかと。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊が徐々に伸びている理由は、新潟県の「つなぐ、にいがた。」観光キャンペーンで、1人当たり1泊1万円以上の宿泊に対し5千円の割引があることや、国のGo To Travelキャンペーンによる支援によるものである。宿泊の伸びは県内客中心である。
	○	通信会社（社員）	・いまだ一部地域では、自重している空気感は否めないが、底は脱した感じである。自粛ムードがこのまま緩和されていけば、今までの状態を下回ることにはなさそうである。
	○	ゴルフ場（経営者）	・新型コロナウイルスが収まれば今よりは良くなる。
	□	商店街（代表者）	・8月後半から、新型コロナウイルス感染がクラスターで発生し、飲食を中心に自主休業を行っているという暗い話題ばかりで、先の見えない状況が続いている。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	・新しい生活様式に慣れてきたのかどうか、景気の良さあしと結び付けることができるのか分からない。相変わらず、必要な物への出費はするが、余分なことや物への出費はみられない。
	□	一般小売店〔薬〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者が減るのではなく増えているせいか、今後の見通しは不透明である。景気が良くなるとは考えられない。
	□	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で、いまだに消費に力強さがないものの、4～5月の状況よりは良くなってきている。この状態がしばらく続くような気がする。
	□	百貨店（店長）	・現状、売上の2けた減で推移しており、厳しい状況が続いている。新型コロナウイルス次第の状況は変わっておらず、急な戻りは見通せない。また、政府による企業への補助金等援助策の行方も気になる。
	□	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの状況次第で市況が変化するため、先は読めない。
	□	スーパー（経営者）	・パートを募集して、もう少し弁当の宅配と野菜の納品を増やしたい。
	□	コンビニ（経営者）	・販売量が前年とそれほど変わらないので、今後も数量、売上は前年並みくらいにはなるような気がする。
	□	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス関係で、いろいろ動いているような気がする。収束という話も出ているが、今のところ微妙で、余り変わっていくような良い条件が出てきてはいないので、変わらない。
	□	衣料品専門店（経営者）	・しばらくは新型コロナウイルスの影響を受けるので、変わらずに悪い。
	□	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの影響は、当面続くと思われる。
	□	乗用車販売店（経営者）	・現在、新型コロナウイルス感染拡大の第2波とみられるさなかで、再び新車購入の回復にブレーキがかかる動きもみられる。秋に向かっては、インフルエンザの流行期も合わせて懸念される。

□	乗用車販売店（経営者）	・2～3か月先の改善要素は見当たらない。客とのコミュニケーションに努める毎日である。
□	その他専門店〔貴金属〕（営業）	・新型コロナウイルスの影響で、悪いまま変わらない。
□	一般レストラン（経営者）	・テイクアウトやデリバリーサイトに登録したので、増収に期待したい。
□	旅行代理店（副支店長）	・やはりGo To Travelキャンペーンの東京除外が自粛につながっていることと、新型コロナウイルスの収束がみえない限り、消費増にはならない。特に、旅行は自粛ムードと万が一感染した場合を考えて、客の足取りが重くなっている。Go To Travelキャンペーンの需要が増えても感染リスクが増すだけで、根本的な景気回復とは考えにくい。
□	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの状況によって、大分変わってくる。
□	通信会社（経営者）	・地方へも新型コロナウイルス感染が広がり、これが今後どのくらい拡大し、どの程度影響するのかわからない。
□	観光名所（職員）	・大都市は新型コロナウイルスの感染第2波も落ち着き始めたが、人が動けば地方に感染が拡散されていく。当地も今になって、各地で小規模クラスターが発生し始め、皆不安を抱えている。今シーズンはただらだとこのままの状態が続くのではないだろうか。
□	設計事務所（経営者）	・待たせる物件も出てきているので、しばらくは例年どおりの状況が続く。
□	住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大の終息が、依然として見込めない。
▲	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの問題が報道されている間は、自粛ムードはなくなる。
▲	商店街（代表者）	・当店は、学校用品を扱うので、一般的な店と違い、必要な物はどうであっても買ってくれる。ただし、新型コロナウイルスの問題が解決しない限り、今後は徐々に客が減っていくような感じがして心配でならない。
▲	一般小売店〔家電〕（経営者）	・特に主力になる商材が今のところ見当たらない。
▲	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの影響は徐々に落ち着いていくと思うが、所得減少が心配なところである。
▲	コンビニ（経営者）	・例年どおり、やや悪くなると予想する。
▲	コンビニ（エリア担当）	・先行きが見えない以上、貯蓄に回す節約生活に、より一層拍車がかかると思うため、やや悪くなる。
▲	自動車備品販売店（従業員）	・自粛ムードのある生活環境では消費も上向かず、2～3か月後の冬のボーナス等による売上の盛り上がりも、厳しいものになると感じている。
▲	高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収まらないなか、いまだに新たなクラスターが発生している現状では、景気の先行きは暗い。
▲	一般レストラン（経営者）	・繰り返される新型コロナウイルス感染への不安と政治に対する不安で、消費が滞っていくのではないかと。
▲	スナック（経営者）	・休業要請解除後、しばらくしてから客が戻ってきたように感じていたが、最近の新型コロナウイルス感染者の増加に伴い、企業から社員に「飲みにはいけない」という指令が出ているようで、一気に暇になっている。この先どうなるのか全く読めず、これ以上、新型コロナウイルスの感染が増えると、更に暇になる可能性もある。
▲	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況に応じて変わっていく。感染者が増えれば自粛傾向に推移し、減っていけば緩和していく。感染防止対策を講じて営業しているが、我々のようなレジャー産業が良くなるのは、まだ先になるのではないかと。
×	スーパー（副店長）	・現状は内食傾向の強まりの結果、前年より売上は良いものの、新型コロナウイルスの不安のなか、景気が良くなることはない。当社も、将来的には厳しい状況になると予想する。
×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスが依然として収束する見込みがない。
×	衣料品専門店（経営者）	・このまま新型コロナウイルスの影響がずっと続くので、来客数がかなり悪くなる。
×	スナック（経営者）	・とにかく良くなる要素が1つも見当たらない。誰のせいでもないが、この新型コロナウイルスという大変な病が、全国、世界中にかけて広がっている。本当にどうしてよいか見当も付かない。何か良い方法があったら教えてほしい。

	×	観光型旅館（経営者）	・現在、観光に動ける客層は、比較的若い世代と子供連れの家族層が中心である。ただし、若い方も家族も長期の連休がないと動かない。従来、秋から冬は高齢者や会社関係の団体客が主になるため、こうした団体客や家族連れ、若い世代の客に期待ができない今年の秋冬は、かなり厳しい状況が予想される。特に、忘年会の時期は最悪の状況になりそうである。
	×	その他サービス〔貸切バス〕（経営者）	・まだしばらくは新型コロナウイルスの影響はなくなるらない。
企業 動向 関連	◎	—	—
(甲信越)	○	電気機械器具製造業（営業担当）	・徐々にではあるが、生産予定が増加している。
	○	建設業（経営者）	・消費者も多少だが落ち着いてきているようで、新しい生活様式も始まり、受注も少しずつだが期待している。
	○	金融業（経営企画担当）	・新型コロナウイルス感染拡大の第2波が懸念されるが、政府の経済活動への取組等により、緩やかに回復する兆しを感じる。
	○	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・希望的観測もあるが、以前のような経済活動に戻りはしないが、新たな生活様式や経済活動の方法を考えることで、現在よりは良くなると予想している。
	□	食料品製造業（営業統括）	・出荷量が減少しているため、貯蔵タンクの余裕がなく、原料の仕込みに影響が出てきているメーカーもみられる。
	□	食料品製造業（総務担当）	・低位維持で今と余り変わらないのではないかと。3か月先だと新型コロナウイルスにインフルエンザのダブルパンチで、更に悪化することも考えられる。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・例年の年末商材受注は見込まれるものの、店頭ワークショップ等は、新型コロナウイルスの状況次第のため、予測が付かない。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・今後の国内受注はある程度の回復が見られるが、海外需要は地域差はあるものの、回復が鈍い。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・受注が継続する見込みがない。周辺企業では相変わらず仕事量が減少したままである。
	□	金融業（調査担当）	・新型コロナウイルスの影響がまだ続くと予想されるほか、製造業でも米中貿易の状況等、不安材料があり、製造業、非製造業共に不透明な状況が続く。
	▲	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・イベントやお祭りがなくなってしまい、仕事になる案件がほとんどなくなってきている状況で、大変厳しい。
	×	食料品製造業（製造担当）	・日に日に体力勝負の感が高まり、何とか回していた会社等は、借金返済と売上減の間で大変厳しい選択にまで追い込まれていくのではないかと。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・元から減少傾向だったところに、新型コロナウイルスの影響でイベント等が減り、仕事が減っている。
	×	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・主だった展示会の中止による卸売の不振や金の価格高騰が響き、新規商材が思うように作れない。仕事が少ないことから、副業を始めたり転業する職人が出始めており、業界的に不安な要素が見え始めている。
雇用 関連	◎	—	—
(甲信越)	○	—	—
	□	人材派遣会社（営業担当）	・ボーナスの出ない企業が増えており、経済活動は停滞している。秋以降も大変な状況になると予想している。
	□	求人情報誌製作会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が現在も増えており、今後もしばらくは厳しい状況が続く。
	□	職業安定所（職員）	・製造業の中でも、自動車部品や車載メーター関連で改善がみられない。全産業で求人が前年同期より落ち込んでおり、雇用マインドは冷えたままである。
	□	民間職業紹介機関（経営者）	・先行きへの不安から新規採用はできるだけ手控え、現行の社員で対応するといった消極的な姿勢が目立つ。退職者の補充程度は考えているものの、採用に慎重な姿勢は崩していない。
	▲	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染拡大は依然として続いており、収束の見通しが立たない。
	×	職業安定所（職員）	・明るい兆しが何もない。